

2016年3月期 第2四半期 決算説明資料

2015年11月25日

文化シヤッター株式会社

目次

2016年3月期 第2四半期の実績について	P 1
事業環境について	P 2
業績について	P 3
売上高及び営業利益の増減要因	P 4
セグメント別売上高及び営業利益	P 5
売上高の用途別セグメント別分析	P 6

2016年3月期の見通しについて	P 7
事業環境予想について	P 8
業績見通しについて	P 9
売上高及び営業利益の増減要因	P10
セグメント別状況	P11

第三次中期経営計画の進捗状況について	P12
第三次中計の進捗状況とセグメント別売上高推移	P13
営業力の革新① シャッター事業の強化	P14
営業力の革新② ドア事業の強化	P15
営業力の革新③ ストック市場への注力	P16
営業力の革新④ 施工力の強化、高付加価値商品の拡販	P17
営業力の革新⑤ 不二サッシ株式会社との協業推進	P18
営業力・生産力の革新 海外事業の取り組み強化	P19
経営基盤の革新 企業コスト削減(BXTCR)の取り組み強化	P20

トピックス	P21
トピックス① 新商品・ショールーム及び受賞商品紹介	P22
トピックス② 止水事業の取り組み強化	P23

参考資料	P24
文化シャッターグループ概要	P25
文化シャッターグループの会社構成と海外事業展開	P26
連結貸借対照表	P27
連結キャッシュフロー計算書	P28
シャッター関連製品事業の状況（主要製品）	P29
建材関連製品事業の状況（主要製品）	P30
サービス事業、リフォーム事業の状況	P31
太陽光発電システム事業の状況	P32

2016年3月期 第2四半期の実績について

	2014年3月期上期		2015年3月期上期		2016年3月期上期	
	実績	伸率	実績	伸率	実績	伸率
新設住宅着工戸数 (万戸)	49.9	112.7%	44.1	88.4%	47.1	106.9%

非住宅着工床面積 (万㎡)	2014年3月期上期		2015年3月期上期		2016年3月期上期	
	実績	伸率	実績	伸率	実績	伸率
工場・倉庫 (万㎡)	789	103.2%	773	98.0%	885	114.4%
医療・福祉 (万㎡)	520	123.2%	500	96.1%	325	65.1%
店舗 (万㎡)	462	133.6%	350	75.8%	348	99.5%
事務所 (万㎡)	333	105.1%	326	98.0%	358	109.7%

◆ 経済環境は、政府による経済再生に向けた各種政策の効果もあり、企業の設備投資や雇用情勢等に改善傾向が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移した。その一方で、欧州経済の停滞や中国経済の失速への懸念など、依然として先行きの不透明感は拭いきれない状況で推移した。

◆ 建築市場について、当グループの先行指標である新設住宅着工戸数は、前年同期比6.9%増の47万1千戸で推移した。

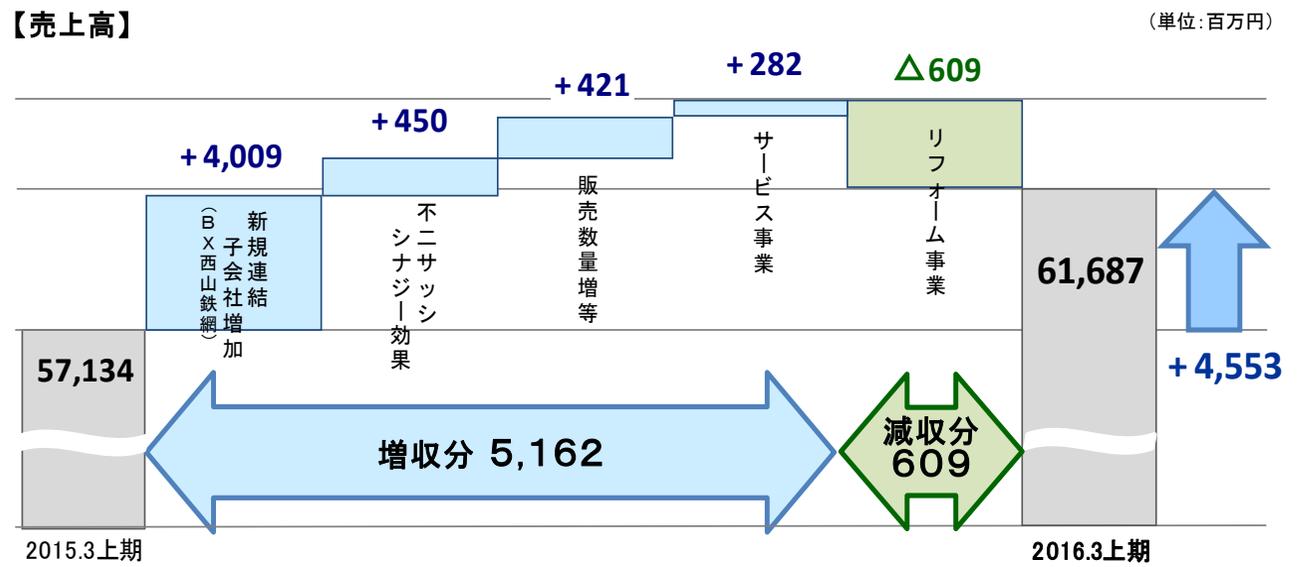
同様に非住宅着工床面積(建築確認申請時点)は、工場と事務所向けが増加したものの、医療・福祉向けが大きく減少したことで、前年同期比2.5%減の2,665万㎡で推移した。

(単位:百万円)

	2015年3月期上期		2016年3月期上期				
	実績	売上比	期初予想	実績	売上比	伸率	予想比
売上高	57,134	100.0%	65,000	61,687	100.0%	108.0%	94.9%
売上原価	40,778	71.4%	47,200	44,004	71.3%	107.9%	-
売上総利益	16,355	28.6%	17,800	17,682	28.7%	108.1%	-
販売費及び一般管理費	13,151	23.0%	14,400	14,498	23.5%	110.2%	-
営業利益	3,203	5.6%	3,400	3,183	5.2%	99.4%	93.6%
経常利益	3,666	6.4%	3,800	3,316	5.4%	90.4%	87.3%
当期純利益	2,322	4.1%	2,350	1,697	2.8%	73.1%	72.2%
1株当たり配当金	8円		10円	10円		+2円	-
設備投資額	711		-	2,416		339.8%	-
減価償却費	850		-	1,174		138.1%	-
期末 従業員 (人)	正社員	3,517	-	3,781		+264	-
	臨時雇用者	927	-	964		+37	-
	合計	4,444	-	4,745		+301	-

- ◆ 売上高は、5期連続の増収、2期連続の過去最高売上。
- ◆ 販売費及び一般管理費の増加と営業外収益の減少により、営業利益、経常利益、当期純利益は減益。
- ◆ 要員増の主な内訳は、BX西山鉄網の新規連結と、新入社員を含めた増加分。
- ◆ 1株当たり配当金は、2円増配の10円に引き上げ。

売上高及び営業利益の増減要因

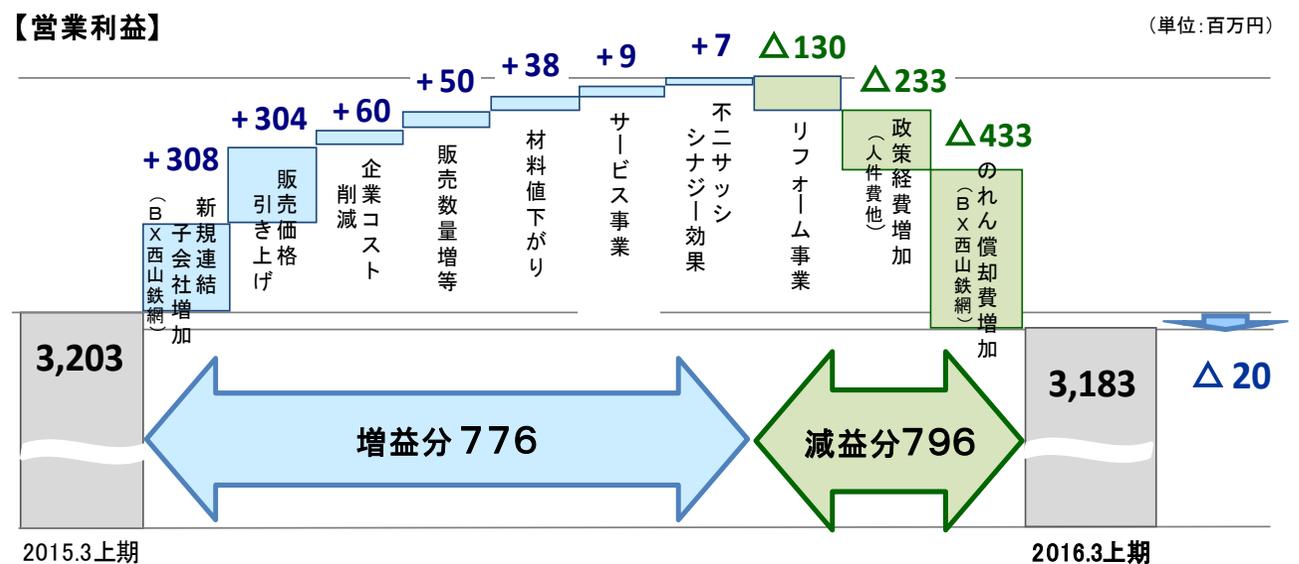


◆ 売上高の増減要因について、

増収要因は、「BX西山鉄網の新規連結」「不二サッシとのシナジー効果」「販売数量の増加」などによる売上拡大が寄与。

減収要因は、「リフォーム事業の売上減が影響。

トータルで45億5,300万円の増収。



◆ 営業利益の増減要因について、

増益要因は、「BX西山鉄網の新規連結」「販売価格の引き上げ」などが寄与。

減益要因は、「リフォーム事業」の売上減、従業員の処遇改善に伴う人件費を中心とした「政策経費の増加」、BX西山鉄網の新規連結に伴う「のれん償却費の増加」が影響。

トータルで2,000万円の減益。

セグメント別売上高及び営業利益

(単位:百万円)

	2015年3月期上期		2016年3月期上期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
シャッター関連製品事業	21,953 (23,300)	3,062 (2,875)	23,011 (23,000)	3,244 (3,250)
伸率	98.5%	119.7%	104.8%	105.9%
増減	△ 344	504	1,057	182
建材関連製品事業	21,833 (22,750)	720 (650)	25,827 (27,700)	736 (640)
伸率	105.0%	144.9%	118.3%	102.2%
増減	1,036	223	3,993	16
サービス事業	7,144 (7,000)	586 (550)	7,426 (7,600)	595 (650)
伸率	106.3%	120.0%	104.0%	101.6%
増減	423	97	282	9
リフォーム事業	4,376 (5,200)	8 (300)	3,767 (4,700)	△ 122 (70)
伸率	86.1%	3.5%	86.1%	-
増減	△ 705	△ 248	△ 609	△ 130
その他事業	1,824 (1,750)	126 (75)	1,654 (2,000)	104 (140)
伸率	109.0%	213.5%	90.6%	83.0%
増減	151	67	△ 170	△ 21
配賦不能額	-	1,300 (1,250)	-	1,376 (1,350)
合計	57,134 (60,000)	3,203 (3,200)	61,687 (65,000)	3,183 (3,400)
伸率	101.0%	121.8%	108.0%	99.4%
増減	561	573	4,553	△ 20

()は期初予想数字

- ◆ シャッター関連製品事業は、収益ともにほぼ期初予想通りに推移。主要製品である重量シャッター、軽量シャッターが好調に推移し、増収増益。
- ◆ 建材関連製品事業は、ドアの売上計上時期が下期に持ち越されたことで売上高は期初予想を下回ったが、
1) 設計、製造、販売、施工に至る体制整備によりドアの利益率が改善
2) BX西山鉄網の新規連結により営業利益が期初予想を上回り、増収増益。
- ◆ サービス事業は、収益ともに期初予想を下回ったが、緊急の修理及びメンテナンス対応が堅調に推移し、増収増益。
- ◆ リフォーム事業は、第2Qが黒字化したものの、受注件数の減少により収益ともに期初予想を下回り、減収減益。
- ◆ その他事業は、止水事業が好調に推移したが、太陽光発電システム事業が低調に推移したことで収益ともに期初予想を下回り、減収減益。

売上高の用途別セグメント別分析

(単位:億円)

		増減収 売上高	工場・倉庫 向け	医療福祉・ 学校向け	オフィスビル・ 公共施設向け	商業施設 向け	その他 住宅向け等
増収額合計	増減	45.5	18.2	△ 14.7	13.2	0.6	28.2
売上高合計	売上高	616.8	148.4	76.0	72.5	47.1	272.8
シャッター関連 製品事業計	増減	10.6	12.2	△ 3.6	3.0	△ 1.4	0.4
	売上高	230.1	91.5	9.5	14.8	21.1	93.2
軽量シャッター群	増減	2.7	2.2	△ 0.4	0.2	△ 0.2	0.9
	売上高	75.2	28.1	1.0	3.5	5.6	37.0
重量シャッター群	増減	12.8	11.6	△ 1.7	1.9	△ 0.9	1.9
	売上高	96.4	54.7	4.5	7.8	10.6	18.8
窓シャッター群	増減	△ 0.2	-	-	-	-	△ 0.2
	売上高	31.8	-	-	-	-	31.8
シャッター関連群	増減	△ 4.7	△ 1.6	△ 1.5	0.9	△ 0.3	△ 2.2
	売上高	26.7	8.7	4.0	3.5	4.9	5.6
建材関連製品 事業計	増減	39.9	5.8	△ 11.6	7.8	1.4	36.5
	売上高	258.3	27.2	61.9	42.1	13.3	113.8
エクステリア群	増減	△ 1.2	-	-	-	-	△ 1.2
	売上高	33.6	-	-	-	-	33.6
ドア・ パーティション群	増減	1.1	5.8	△ 11.6	7.8	1.4	△ 2.3
	売上高	184.7	27.2	61.9	42.1	13.3	40.2
その他建材製品群	増減	40.0	-	-	-	-	40.0
	売上高	40.0	-	-	-	-	40.0
サービス事業計	増減	2.8	0.3	0.5	1.0	0.1	0.9
	売上高	74.2	26.8	3.4	13.2	11.5	19.3
リフォーム事業計	増減	△ 6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 6.1
	売上高	37.7	-	-	-	-	37.7
その他事業計	増減	△ 1.7	△ 0.1	0.0	1.4	0.5	△ 3.5
	売上高	16.5	2.9	1.2	2.4	1.2	8.8

- ◆ 増収額45億5,000万円を用途別で見ると、「工場・倉庫向け」「オフィスビル・公共施設向け」「その他住宅向け等」が牽引。
- ◆ 「工場・倉庫向け」は、オーバースライディングドアや高速シートシャッターを含めた重量シャッター群が好調に推移し、18億2,000万円の増収。
- ◆ 「医療福祉・学校向け」は、主に引戸の売上減少が影響し、14億7,000万円の減収。
- ◆ 「オフィスビル・公共施設向け」は、主にスチールドアが好調に推移し、13億2,000万円の増収。
- ◆ 「商業施設向け」は、重量シャッターの売上減少が影響したものの、スチールドアが好調に推移し、6,000万円の増収。
- ◆ 「その他住宅向け等」は、リフォーム事業が低調に推移したものの、BX西山鉄網の新規連結が大きく寄与し、28億2,000万円の増収。

2016年3月期の見通しについて

【事業環境】	2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期	
	実績	伸率	実績	伸率	予想	伸率
新設住宅着工戸数 (万戸)	98.7	110.6%	88.0	89.2%	89.7	101.9%
非住宅着工床面積 (万㎡)	5,625	108.1%	5,261	93.5%	5,319	101.1%
工場・倉庫 (万㎡)	1,506	100.7%	1,591	105.6%	1,618	101.7%
医療・福祉 (万㎡)	1,111	120.2%	915	82.4%	700	76.5%
店舗 (万㎡)	835	112.3%	714	85.6%	707	99.0%
事務所 (万㎡)	609	99.5%	618	101.5%	615	99.5%

新設住宅着工戸数の予想値は、住宅生産団体連合会のデータを参考に試算
 非住宅着工床面積は、建設経済研究所のデータを参考に試算

【売上構成比】	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期上期
住宅向け	32.9%	31.8%	36.7%
非住宅向け	67.1%	68.2%	63.3%

◆ 経済環境は、輸出と生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、設備投資は企業収益が改善を続ける中で緩やかな回復基調が見込まれる。また、雇用と所得環境の改善を背景に個人消費や住宅投資の持ち直しが見られることから、景気は緩やかな回復を続けると予想。

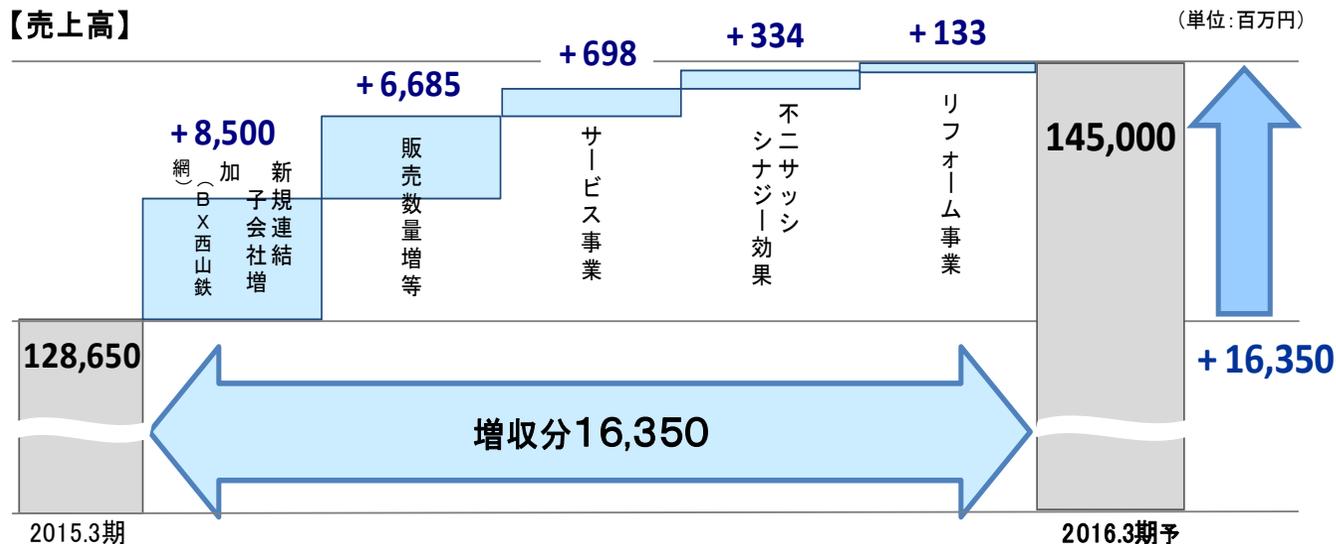
◆ 建築市場について、新設住宅着工戸数は消費税増税の延期と貸家の相続税対策の影響が継続することなどにより、前期比1.9%増の89万7,000戸を予想。

非住宅着工床面積は、工場や物流倉庫を中心に緩やかな回復基調が継続する見込みから、前期比1.1%増の5,319万㎡を予想。

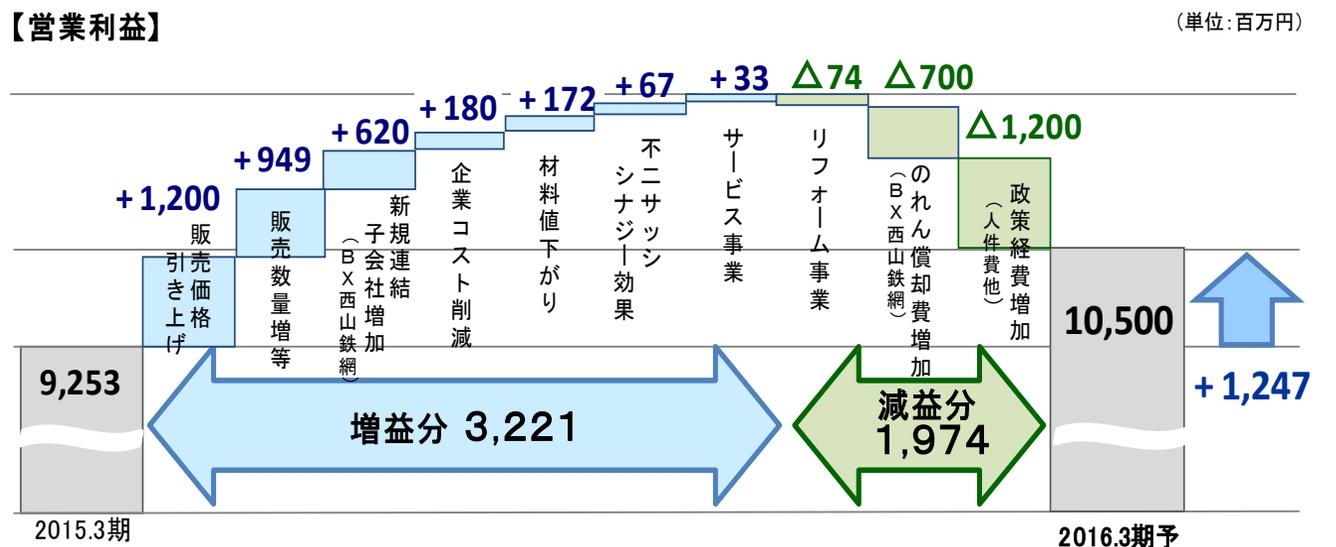
(単位:百万円)

	2015年3月期				2016年3月期						
	上期実績	下期実績	通期実績	売上比	上期実績	下期予想	伸率	通期予想	売上比	伸率	増減
売上高	57,134	71,516	128,650	100.0%	61,687	<i>83,313</i>	<i>116.5%</i>	145,000	100.0%	<i>112.7%</i>	16,350
売上原価	40,778	51,960	92,738	72.1%	44,004	<i>61,296</i>	<i>118.0%</i>	105,300	72.6%	<i>113.5%</i>	12,562
売上総利益	16,355	19,557	35,912	27.9%	17,682	<i>22,018</i>	<i>112.6%</i>	39,700	27.4%	<i>110.5%</i>	3,788
販売費及び一般管理費	13,151	13,507	26,658	20.7%	14,498	<i>14,702</i>	<i>108.8%</i>	29,200	20.2%	<i>109.5%</i>	2,542
営業利益	3,203	6,050	9,253	7.2%	3,183	<i>7,317</i>	<i>120.9%</i>	10,500	7.2%	<i>113.5%</i>	1,247
経常利益	3,666	6,379	10,045	7.8%	3,316	<i>7,684</i>	<i>120.5%</i>	11,000	7.6%	<i>109.5%</i>	955
当期純利益	2,322	4,170	6,492	5.0%	1,697	<i>5,303</i>	<i>127.2%</i>	7,000	4.8%	<i>107.8%</i>	508
1株当たり配当金	8円	9円 (うち記念1円)	17円 (うち記念1円)		10円	<i>10円</i>		20円		-	4円
設備投資額	711	2,650	3,361		2,416	-		3,500		<i>104.1%</i>	139
減価償却費	850	941	1,791		1,174	-		2,500		<i>139.6%</i>	709
期末従業員 (人)	正社員	3,517	-	3,518	3,781	-		3,770		-	252
	臨時雇用者	927	-	948	964	-		970		-	22
	合計	4,444	-	4,466	4,745	-		4,740		-	274

- ◆ 11ページにある通り、9月末の受注残高が前年対比で約69億円増加していることを前提に、期初の計画通り、通期予想を達成する見通し。
- ◆ 売上高は前期比12.7%増の1,450億円と6期連続の増収。営業利益は前期比13.5%増の105億円と最高益の更新を見込む。
- ◆ 当社の利益配分に対する基本的な考え方は、株主への安定配当を継続しつつ、業績を勘案して配当額を決定。通期の配当性向は20.5%を予想し、1株当たり配当金は20円を見込む。
- ◆ 設備投資額は、主に設備の合理化及び更新とシステム関連費用を合わせた35億円を計画。



◆ 売上高の増減要因について、「BX西山鉄網の新規連結」「販売数量の増加」などを見込み、163億5,000万円の増収を見込む。



◆ 営業利益の増減要因について、増益要因は、採算重視の受注活動による「販売価格の引き上げ」「販売数量の増加」「BX西山鉄網の新規連結」など。減益要因は、BX西山鉄網の「のれん償却費の増加」、従業員の処遇改善による人件費を中心とした「政策経費の増加」。トータルで12億4,700万円の増益を見込む。

【売上高】	2015年3月期				2016年3月期					
	上期実績		通期実績		上期実績		増減	通期		
	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率	期初予想		11月予想	伸率	
シャッター関連事業	21,953	98.5%	48,060	100.3%	23,011	104.8%	1,057	51,500	51,200	106.5%
建材関連事業	21,833	105.0%	53,013	107.8%	25,827	118.3%	3,993	63,600	65,500	123.6%
サービス事業	7,144	106.3%	15,502	103.5%	7,426	104.0%	282	16,200	16,200	104.5%
リフォーム事業	4,376	86.1%	8,417	76.2%	3,767	86.1%	△ 609	9,600	8,550	101.6%
その他事業	1,824	109.0%	3,656	105.7%	1,654	90.6%	△ 170	4,100	3,550	97.1%
合計	57,134	101.0%	128,650	101.6%	61,687	108.0%	4,553	145,000	145,000	112.7%

【営業利益】										
	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率
シャッター関連事業	3,062	119.7%	6,751	94.7%	3,244	105.9%	182	7,700	7,680	113.8%
建材関連事業	720	144.9%	3,118	138.6%	736	102.2%	16	3,300	3,650	117.1%
サービス事業	586	120.0%	1,717	101.2%	595	101.6%	9	1,750	1,750	101.9%
リフォーム事業	8	3.5%	54	7.3%	△ 122	-	△ 130	200	△ 20	-
その他事業	126	213.5%	261	145.3%	104	83.0%	△ 21	300	240	92.0%
配賦不能額	1,300	105.8%	2,649	107.8%	1,376	105.8%	76	2,750	2,800	105.7%
合計	3,203	121.8%	9,253	97.0%	3,183	99.4%	△ 20	10,500	10,500	113.5%

【受注残高】										
	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率
シャッター関連事業	16,796	126.3%	15,860	125.0%	18,501	110.2%	1,705	18,650	17,650	111.3%
建材関連事業	34,424	122.0%	29,575	111.0%	39,403	114.5%	4,979	33,400	35,200	119.0%
サービス事業	1,572	99.4%	1,415	102.4%	1,742	110.8%	170	1,500	1,500	106.0%
リフォーム事業	1,037	66.2%	692	59.5%	1,297	125.0%	260	1,200	1,300	187.9%
その他事業	854	104.9%	684	76.3%	632	74.1%	△ 222	1,100	550	80.4%
合計	54,685	120.2%	48,229	112.7%	61,577	112.6%	6,892	55,850	56,200	116.5%

【受注高】										
	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率
シャッター関連事業	26,066	105.1%	51,236	102.9%	25,652	98.4%	△ 414	54,289	52,989	103.4%
建材関連事業	29,604	102.2%	55,935	100.3%	35,654	120.4%	6,050	67,424	71,124	127.2%
サービス事業	7,335	113.9%	15,535	107.1%	7,754	105.7%	419	16,284	16,284	104.8%
リフォーム事業	4,251	79.4%	7,947	72.8%	4,371	102.8%	120	10,107	9,157	115.2%
その他事業	1,782	94.1%	3,444	91.5%	1,602	89.9%	△ 180	4,515	3,415	99.2%
合計	69,039	102.4%	134,099	99.5%	75,035	108.7%	5,996	152,620	152,970	114.1%

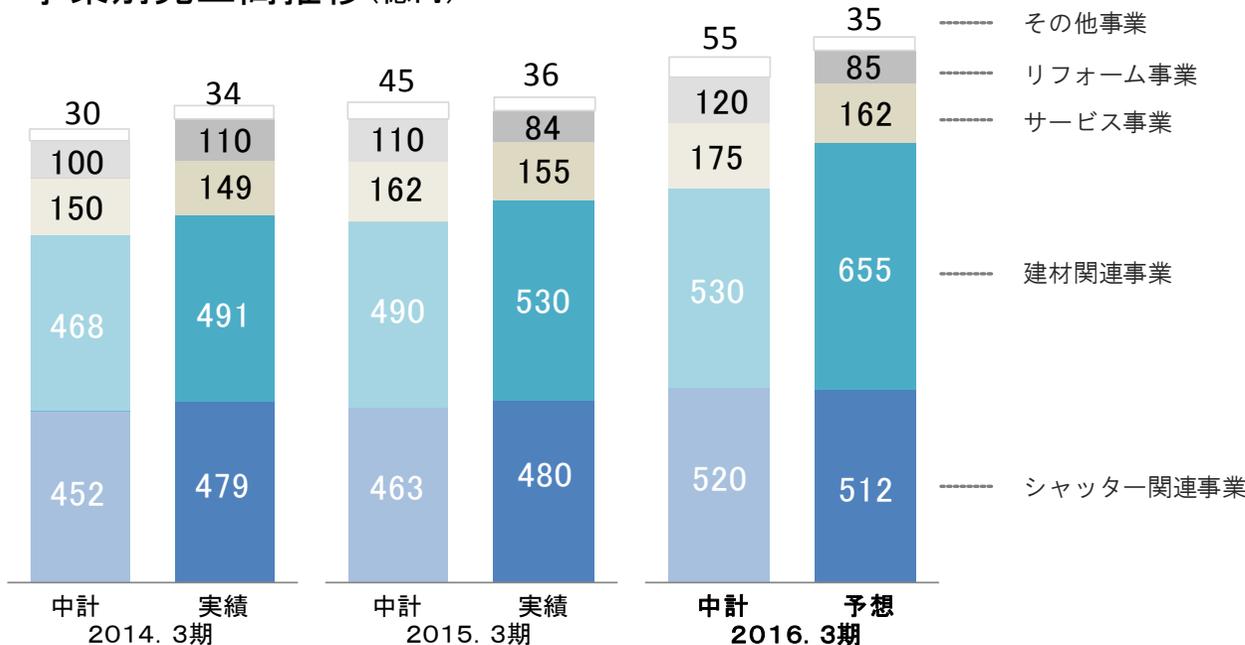
第三次中期経営計画の進捗状況について

(億円)

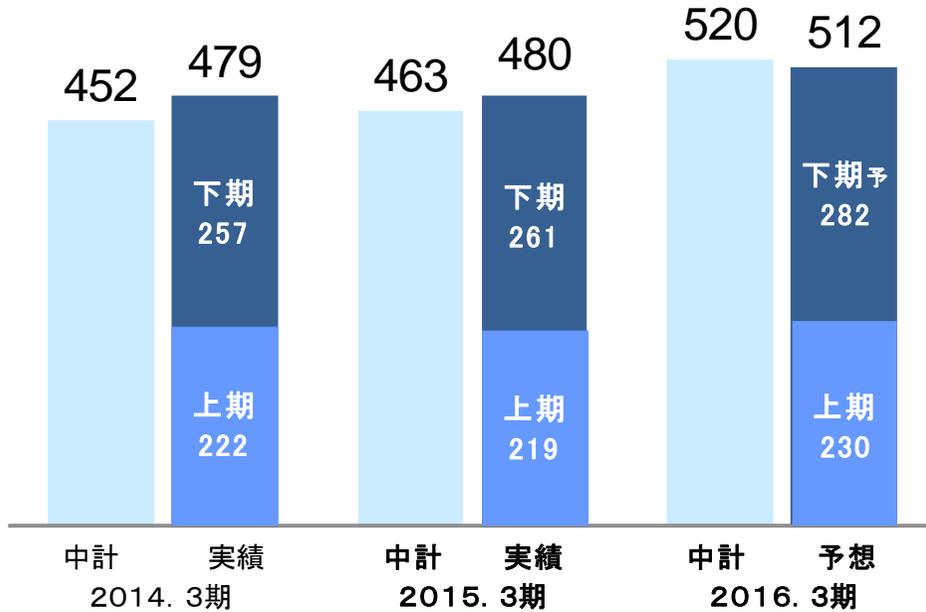
	2014.3期		2015.3期		2016.3期	
	中計	実績	中計	実績	中計	計画
売上高	1,200	1,266	1,270	1,286	1,400	1,450
伸率	106.3%	112.1%	105.8%	101.6%	110.2%	112.7%
営業利益	70	95	76	92	92	105
営業利益率	5.8%	7.5%	6.0%	7.2%	6.6%	7.2%
投資額	30	26	35	33	35	35

◆ 第三次中期経営計画の最終年度となる16年3月期は、堅調な建築市場を背景に、当初の計画通り、売上高1,450億円、営業利益105億円の達成を見込む。

事業別売上高推移(億円)

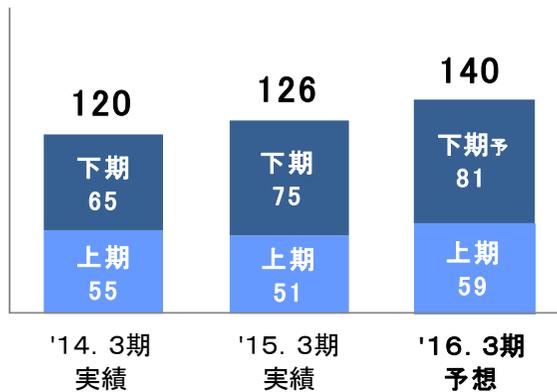


「シャッター事業」売上高(億円)

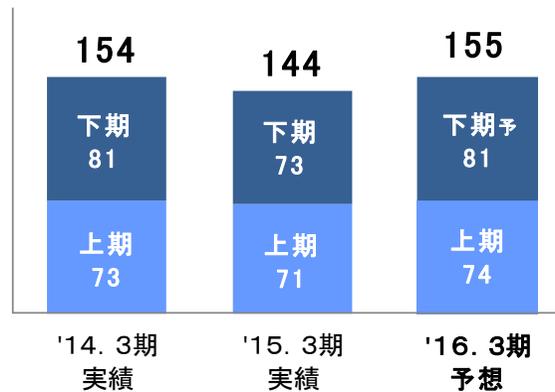


- ◆ 上期は、堅調な建築市場を背景に、重量シャッターと軽量シャッターの受注が拡大し、シャッター事業の売上高は前年同期比で約11億円増加。
- ◆ 16年3月期は、引き続き堅調な市場を背景に、シャッター関連製品事業の9月末受注残高が前年対比で17億円増加していることから、計画達成には到らないものの、売上高は前期比6.5%増の512億円を見込む。

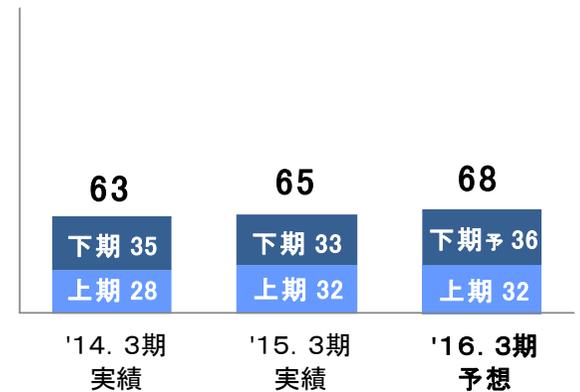
「重量シャッター」売上高(億円)



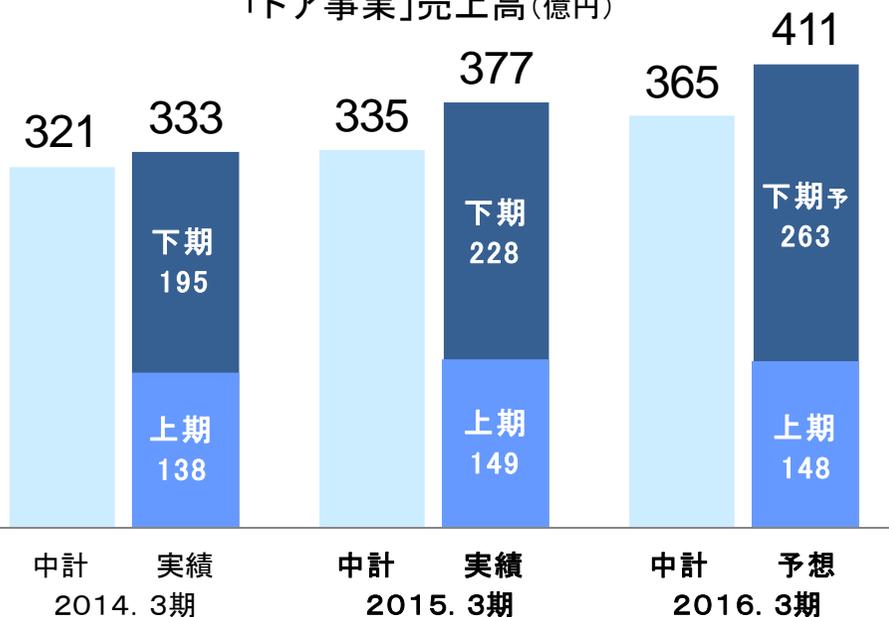
「軽量シャッター」売上高(億円)



「窓シャッター」売上高(億円)



「ドア事業」売上高(億円)

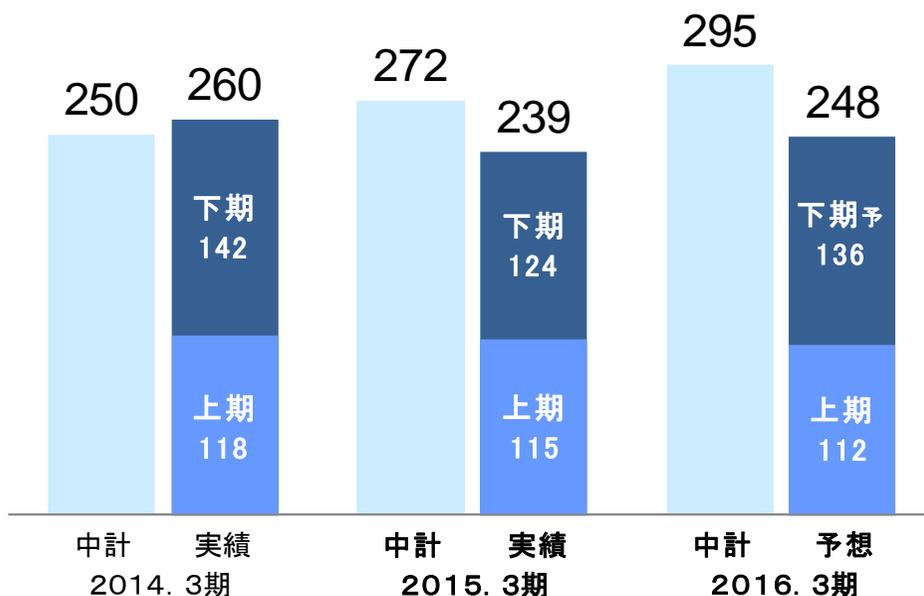


- ◆ 上期は、ドアの売上計上時期が下期に持ち越された影響で、売上高は前年同期比で1億円減少。
- ◆ 16年3月期は、堅調な建築市場を背景に、ドアの受注残高が前年対比で43億円増加していることから、売上高は新商品を含めたスチールドアの拡販により、前期比9.0%増、計画比12.6%増の411億円を見込む。

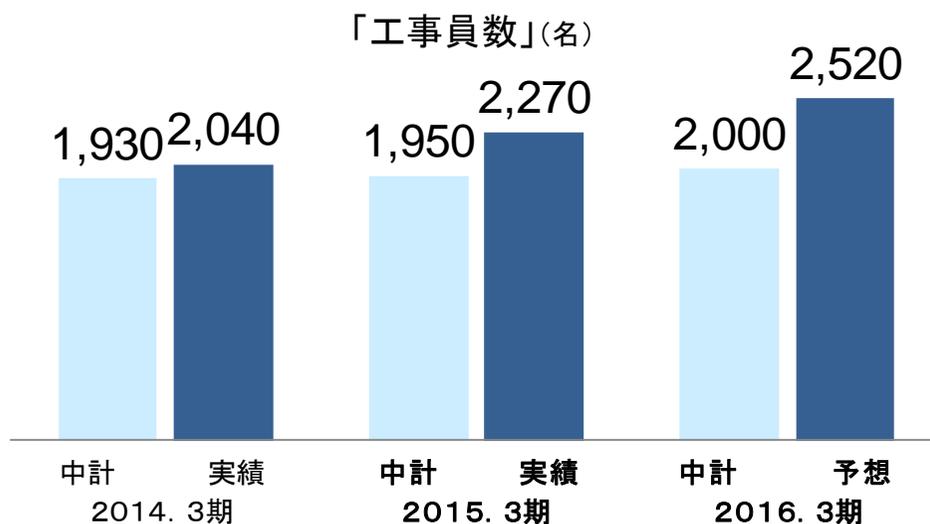
当社新商品ラインアップ



「サービス事業 & リフォーム・リニューアル事業」
売上高(億円)

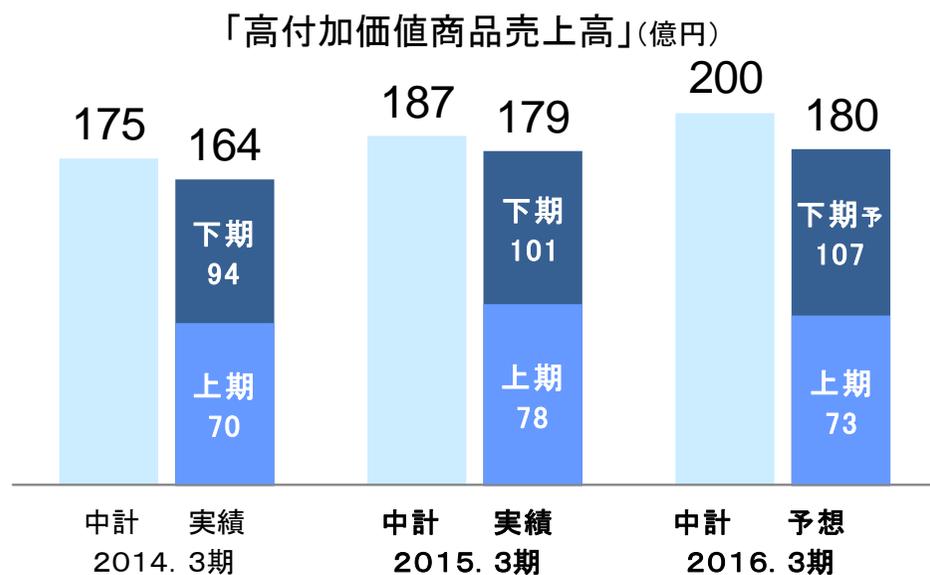


- ◆ 上期は、サービス事業の売上高が前年同期比で約3億円増加したものの、リフォーム事業の売上高が約6億円減少した結果、「Stock市場」向け売上高は、前年同期比で3億円減少した。
- ◆ 「リフォーム事業」は、受注拡大を押し進めるため、10月に八王子店と柏店をオープン。来年1月には大宮店をオープンして事業のてこ入れを図る。
- ◆ 「リニューアル事業」は、専門業者との連携を強化するとともに、10月に開設したWEB専用ページを活用して、シャッターやドアの取り替え需要の掘り起こしを継続して進める。
- ◆ 16年3月期の「Stock市場」向け売上高は、堅調な「サービス事業」と、新規出店による「リフォーム事業」の売上拡大を見込み、計画には到らないものの、前期比3.8%増の248億円をめざす。
- ◆ なお、来年6月に施行される防火設備の検査報告制度に対応するため、グループをあげて体制整備を進めており、今後のサービス事業の拡大が見込めるものと期待している。



施工力の強化について

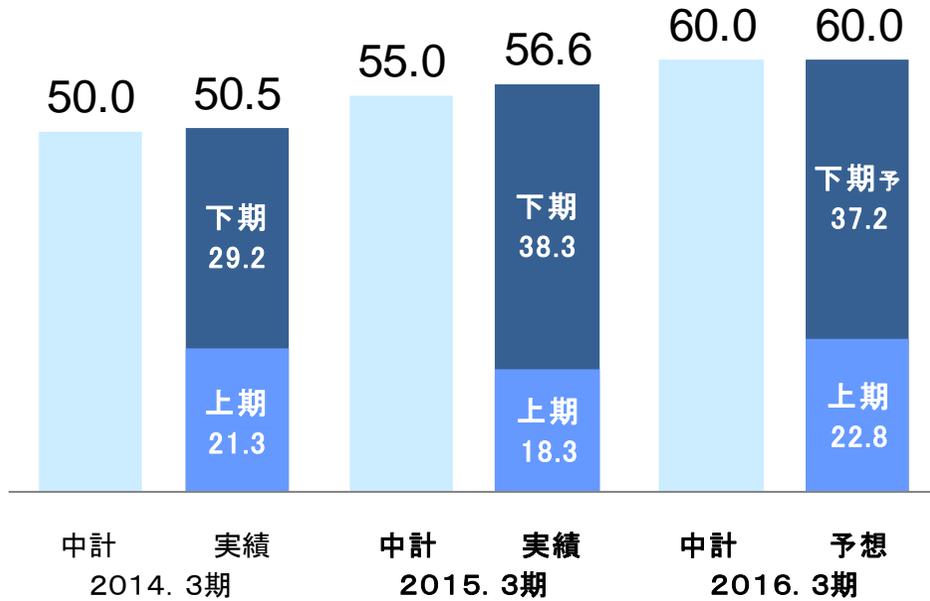
- ◆ 積極的な受注活動を支える上で重要な「工事員の増強」と「施工品質の向上」に注力中。
- ◆ 「工事員の増強」については、育英制度と紹介制度により、通期で250名の増員と即戦力化を図る。
- ◆ 「施工品質の向上」については、東西の研修施設を活用することで継続的な取り組みを推し進める。



高付加価値商品の拡販について

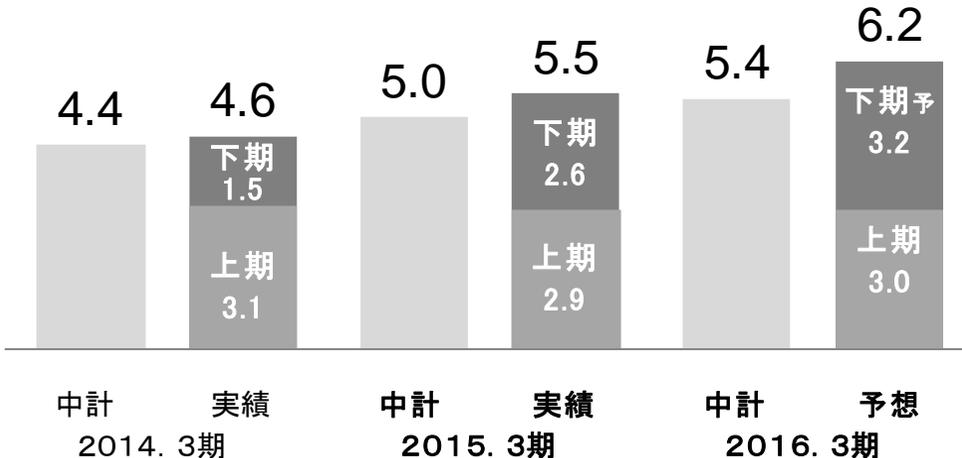
- ◆ 上期の売上高は、主に医療福祉施設向けの引戸が減少したことで、前年同期比6.2%減の73億円。
- ◆ 16年3月期の売上高は、医療福祉施設の着工減を背景に、計画比で20億円減、前期比では1億円増の180億円をめざす。

協業「売上高」(億円)



- ◆ 上期は、両社の物件紹介と複合販売が好調に推移したことで、売上高は前年同期比24.5%増の22億8,000万円、営業利益は同3.4%増の3億円。
- ◆ 協業製品である「ラクセット」は、今年4月の発売開始より好調な受注が続いており、当社止水製品の売上拡大に貢献。
- ◆ 16年3月期は、国内外における製・販・工の協業体制のより一層の強化により、売上高は前期比3億3,400万円増の60億円、営業利益は7,000万円増の6億2,000万円をめざす。

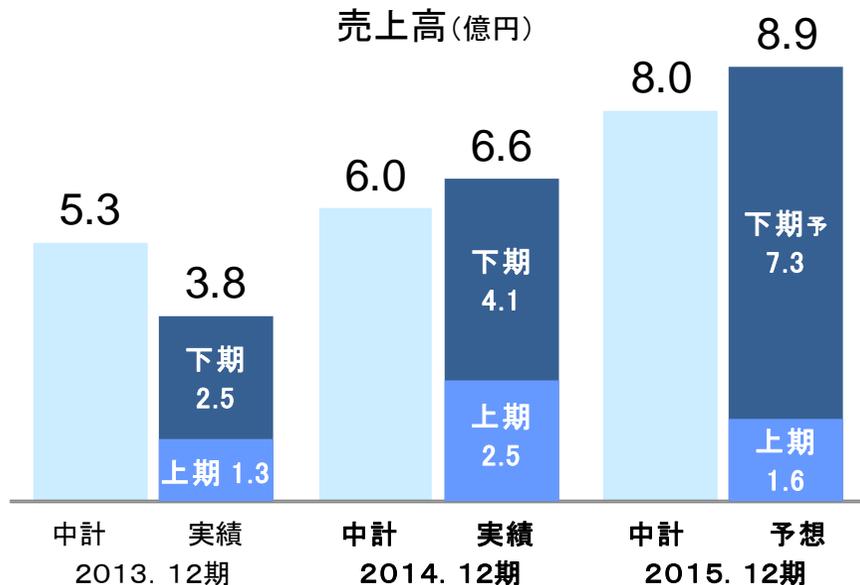
協業「営業利益」(億円)



1人でも約2分で設置できる
BX止水板「ラクセット」

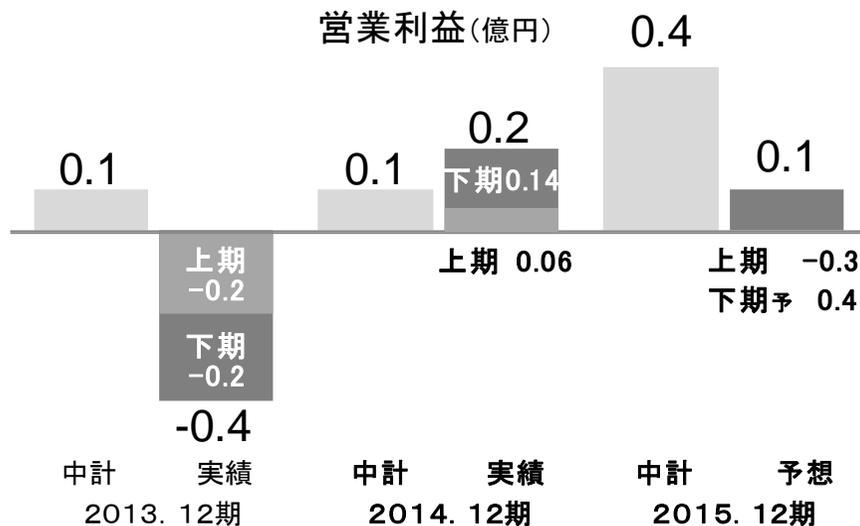
BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd

売上高(億円)



- ◆ 上期は、大型商業施設の工期遅延の影響により、売上高1億6,500万円、営業損益3,000万円の減収減益。
- ◆ 15年12月期は、遅れていた大型物件の工事完了により、売上高は前期比34.8%増の8億9,000万円、営業利益1,000万円と2期連続の黒字をめざす。
- ◆ 海外における売上拡大の施策として、今年10月よりインドネシアに駐在員事務所を開設。今後も東南アジアを中心に、海外事業の取り組み強化を推し進めていく。

営業利益(億円)



	2014.3期	2015.3期	2016.3期			主な施策
	実績	実績	上期	通期予想 (期初)	通期予想 (11月)	
製造・開発部門 コスト削減	2.9	4.7	0.2	5.0	1.0	製品VE ムダ、ムラの削減
販売・設計・施工 部門コスト削減	1.8	0.5	0.2	0.5	0.5	商品仕入れ見直し 作図生産性向上 施工生産性向上
一般固定費削減	0.6	0.2	0.2	0.2	0.3	契約単価見直し等
コスト削減の合計	5.3	5.4	0.6	5.7	1.8	

- ◆ 上期は、6,000万円のコストを削減。
- ◆ 16年3月期は、引き続き徹底したムリ・ムダ・ムラを排除し、企業コストの削減に取り組む。

トピックス

◆ 新商品紹介



「カームスライダ―屋外タイプ」

雨水対策を施した屋外専用の
“鋼製軽量引戸”
2020年開催の東京オリンピックに
向けて整備が見込まれる屋外の
公衆トイレ等に提案

◆ 掛川ショールームをリニューアル



当社掛川工場内“掛川ショールーム”を10月1日より
“BX PLAZA KAKEGAWA”としてリニューアルオープン

◆ 「グッドデザイン賞」「“超”モノづくり部品大賞」受賞商品

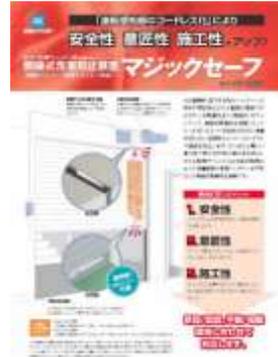


GOOD
DESIGN

止水ドア
「アクアード」



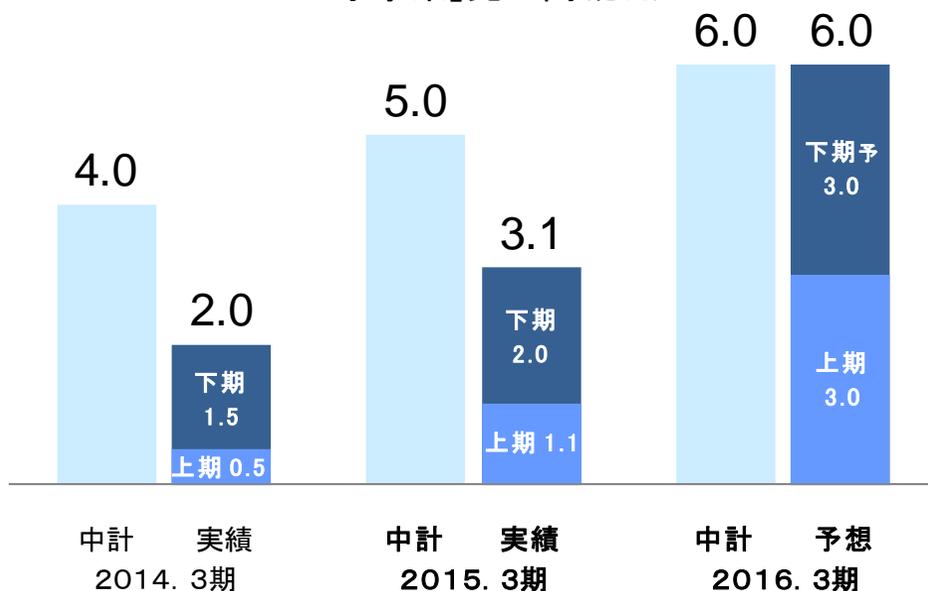
無線式危害防止装置
「マジックセーフ」



“生活関連部品賞”
B X 止水板「ラクセット」



「止水事業」売上高(億円)



◆ 上期は、新製品「ラクセット」の投入や積極的な提案営業の推進により、売上高は前年同期比1億9,000万円増の3億円。

◆ 16年3月期は、防災減災をテーマとした展示会でのPR活動をはじめ、企業や自治体における事業継続計画(BCP)策定のソリューションを実現するための提案活動を推進することで、売上高は計画通り前期比2億9,000万円増の6億円をめざす。

当社オリジナル止水商品のラインアップ



参考資料

- 経営理念 「常にお客様の立場に立って行動します」
「優れた品質で社会の発展に貢献します」
「積極性と和を重んじ日々前進します」
- 概 要 文化シャッター株式会社及び子会社16社
- 事 業 シャッター事業、ビル建材事業、住宅建材事業、リフォーム事業、
リニューアル事業、保守・点検・サービス事業、他
- 拠 点 292営業拠点 123サービス拠点 25工場
- 従業員数 3,781名(2015年9月末現在)

【文化シャッター株式会社(単体)】

代表者 代表取締役社長 執行役員社長 茂木 哲哉

設 立 1955年(昭和30年)4月18日

資本金 15,051百万円

本 社 東京都文京区西片1-17-3

文化シャッター株式会社

シャッター関連製品事業

「電動開閉機」製造・販売

BX新生精機（株）

(2015年10月より社名変更)

「オーニング」製造・販売

BXテンパール（株）

「シャッター」製造・販売

BX沖縄文化シャッター(株)

建材関連製品事業

「ドア」「パーティション」製造

BX文化パネル（株）

「ドア」「スライディングウォール」
製造・販売

BXティアール（株）

「ドア」製造

BXケンセイ（株）

BX鐵矢（株）

BX東北鐵矢（株）

BX朝日建材（株）

「ステンレス建材」製造・販売

BX紅雲（株）

「建築材料」製造・販売

BX西山鉄網（株）

(2015年11月より社名変更)

サービス事業

「保守・点検」「修理加工」

文化シャッターサービス(株)

その他事業

「注文家具」製造・販売

BX文化工芸（株）

損害保険代理業

BXあいわ（株）

リフォーム事業

住宅向けリフォーム事業

BXゆとりリフォーム（株）

(2015年10月より社名変更)

海外事業展開

「シャッター」「ドア」「オーニング」
製造、販売

BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd.

(ベトナム)

「各種シャッター製品」
販売・メンテナンス

BX BUNKA TAIWAN Co.,Ltd.

(台湾)

～海外企業との技術提携～

ベルギー「ダイナコ社」

1999年より高速シートシャッター

「エア・キーパー大間迅」を発売

「BX BUNKA TAIWAN Co.,Ltd.」
「株式会社中央工業」
:非連結子会社で持分法非適用会社
「不二サッシ株式会社グループ」
:関連会社で持分法適用会社
「文化シャッター秋田販売株式会社」
「文化シャッター高岡販売株式会社」
「株式会社エコウッド」
:関連会社で持分法非適用会社



(単位:百万円、%)

	2015年3月期		2016年3月期上期		増 減	
		構成比		構成比		前期末比
流動資産	77,599	65.7	73,320	61.7	△ 4,279	94.5
現金・預金	25,015	21.2	22,309	18.8	△ 2,706	89.2
受取手形・売掛金	37,469	31.7	29,948	25.2	△ 7,521	79.9
たな卸資産	11,485	9.7	16,511	13.9	5,026	143.8
その他	3,627	3.1	4,549	3.8	922	125.4
固定資産	40,457	34.3	45,567	38.3	5,110	112.6
土地	9,014	7.6	9,608	8.1	594	106.6
投資有価証券	11,555	9.8	11,627	9.8	72	100.6
その他の投資・資産	2,102	1.8	2,189	1.8	87	104.1
その他	17,786	15.1	22,143	18.6	4,357	124.5
資産合計	118,056	100.0	118,888	100.0	832	100.7
流動負債	41,985	35.6	41,850	35.2	△ 135	99.7
支払手形・買掛金	25,282	21.4	25,713	21.6	431	101.7
短期借入金	1,400	1.2	1,050	0.9	△ 350	75.0
その他	15,303	13.0	15,087	12.7	△ 216	98.6
固定負債	18,742	15.9	18,920	15.9	178	100.9
長期借入金	80	0.1	80	0.1	0	100.0
退職給付に係る負債	16,885	14.3	17,082	14.4	197	101.2
その他	1,777	1.5	1,758	1.5	△ 19	98.9
負債合計	60,727	51.4	60,771	51.1	44	100.1
純資産合計	57,328	48.6	58,116	48.9	788	101.4
負債・純資産合計	118,056	100.0	118,888	100.0	832	100.7

1株当たり株主資本

799円62銭

810円61銭

期末株価

994円

857円

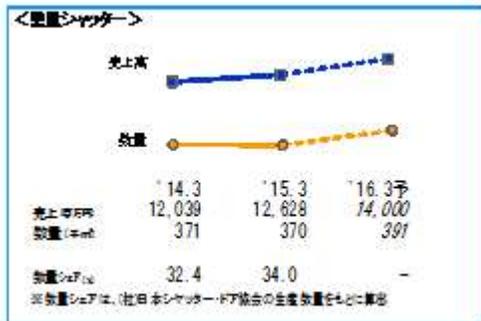
PBR(株価純資産倍率)

1.24

1.06

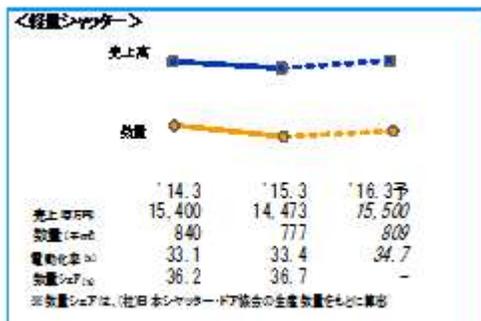
(単位:百万円)

	2015年3月期上期	2016年3月期上期	増減
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,647	4,921	274
税金等調整前当期純利益	3,665	3,235	△ 430
減価償却費	847	1,171	324
売上債権の増減額(△は増加)	7,763	9,271	1,508
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 2,001	△ 1,368	633
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 2,381	△ 4,498	△ 2,117
法人税等の支払額	△ 2,539	△ 1,912	627
その他	△ 707	△ 978	△ 271
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 596	△ 6,877	△ 6,281
投資有価証券の取得による支出	△ 36	△ 165	△ 129
有形固定資産の売却による収入	6	5	△ 1
有形固定資産の取得による支出	△ 491	△ 1,627	△ 1,136
無形固定資産の取得による支出	△ 58	△ 353	△ 295
その他	△ 17	△ 4,737	△ 4,720
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,328	△ 1,256	72
長期借入金の返済による支出	△ 400	△ 400	0
配当金の支払額	△ 573	△ 645	△ 72
その他	△ 355	△ 211	144
4. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,742	△ 3,216	△ 5,958
5. 現金及び現金同等物の期首残高	21,931	23,582	1,651
6. 現金及び現金同等物の期末残高	24,673	20,366	△ 4,307



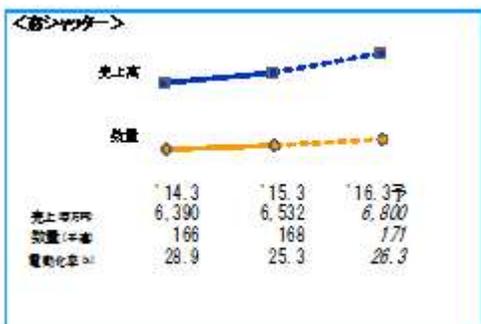
- ◆ 16. 3上期の売上高は、前年同期比16.0%増の59億円。
シェアは33.9%と0.3ポイントアップ。

- ◆ 16. 3通期は、9月末の受注残高が前年同期比で21.2%増加していることを前提に、採算重視の受注活動を継続することで、売上高は10.9%増の140億円を計画。



- ◆ 16. 3上期の売上高は、前年同期比4.4%増の74億円。
シェアは36.9%と0.3ポイントアップ。

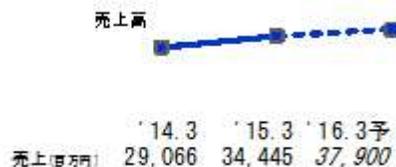
- ◆ 16. 3通期は、9月末の受注残高が前年同期比で10.8%増加していることを前提に、新設住宅着工戸数の回復を見込み、売上高は7.1%増の155億円を計画。



- ◆ 16. 3上期の売上高は、前年同期比0.6%減の31億円。

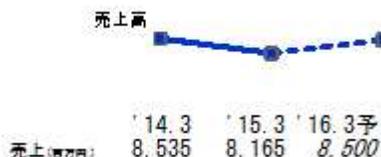
- ◆ 16. 3通期は、9月末の受注残高が前年同期比で1.6%増加していることを前提に、新設住宅着工戸数の回復を見込み、売上高は4.1%増の68億円を計画。

<ドア>



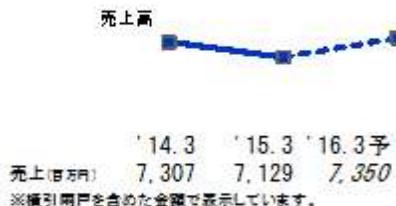
- ◆ 上期の売上高は、前年同期比0.2%増の133億円。
- ◆ 通期は、9月末の受注残高が前年同期比で13.0%増加していることを前提に、採算重視の受注活動を継続強化することで、売上高は前期比10.0%増の379億円を計画。

<パーティション>



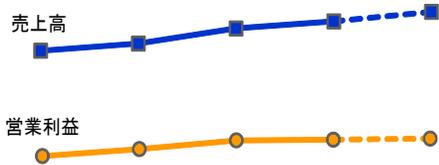
- ◆ 上期の売上高は、前年同期比5.4%増の35億円。
- ◆ 通期は、9月末の受注残高が前年同期比で6.5%増加していることを前提に、文教施設向けの取り替えなど改修物件の受注を強化することで、売上高は前期比4.1%増の85億円を計画。

<エクステリア>



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比3.3%減の33億円。
- ◆ 通期は、9月末の受注残高が前年同期比で15.6%増加していることを前提に、新設住宅着工戸数の回復を見込み、売上高は前期比3.1%増の73億円を計画。

<サービス事業>



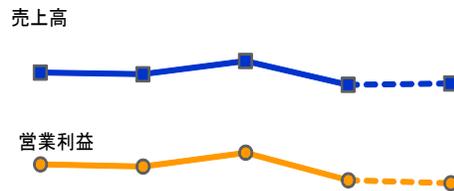
	'12.3	'13.3	'14.3	'15.3	'16.3予
売上高(百万円) (保守・点検、修理加工)	13,358	13,879	14,983	15,502	16,200
営業利益(百万円)	1,230	1,437	1,697	1,717	1,750
営業利益率(%)	9.2	10.4	11.3	11.1	10.8

- ◆ 上期は、修理及びメンテナンス対応が堅調に推移したことで、売上高は前年同期比4.0%増の74億円。
- ◆ 通期は、防災気運の高まりを受け、安全性を高める装置の設置と、保守点検契約の提案を積極的に推し進めることで、売上高は前期比4.5%増の162億円を計画。



修理・保守点検の様子

<リフォーム事業>



	'12.3	'13.3	'14.3	'15.3	'16.3予
売上高(百万円)	9,758	9,573	11,042	8,417	8,550
営業利益(百万円)	449	395	740	54	△ 20
営業利益率(%)	4.6	4.1	6.7	0.6	-
店舗数	22	21	21	21	24

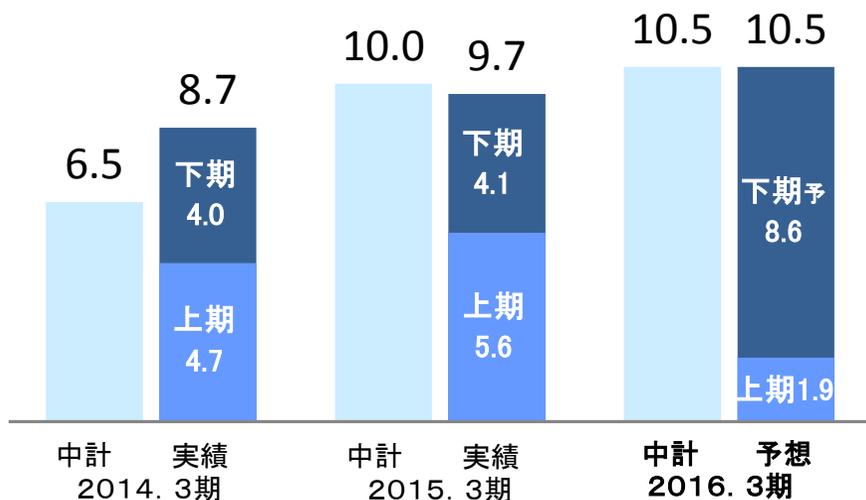
- ◆ 上期は、受注件数の減少により、売上高は前年同期比13.9%減の37億円。
- ◆ 通期は、パッケージ型の定額商品「安心価格」「超安心価格」の拡充・拡販と、受注拡大を図るために首都圏に新設・開設予定の3店舗が寄与することを見込み、売上高は前期比1.6%増の85億5,000万円を計画。



パッケージ型の定額リフォーム商品「安心価格」と、追加工事不要の「超安心価格」の拡販を図る



「太陽光発電システム事業」売上高(億円)



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比65.6%減の1億9,400万円。
- ◆ 通期は、住宅リフォーム事業を展開するBXゆとりフォーム(株)との連携を図り、主に住宅向けの受注に注力することで、売上高は前期比8.2%増の10億5,000万円を計画。



問い合わせ先

文化シャッター株式会社 経営企画部広報室 曾根、小林

TEL03-5844-7150 FAX03-5844-7141

E-mail bxinfo@mail.bunka-s.co.jp

<http://www.bunka-s.co.jp/>